

# 上級漢字・語彙教材開発の試み —漢字及び漢字語彙のネットワークに注目して—

Developing a textbook of Kanji and vocabulary for advanced level learners  
—Focusing on networks of related Kanji and vocabulary

藤田佐和子+・早川幸子+・八木真生++

FUJITA Satoko・HAYAKAWA Yukiko・YAGI Maki

金沢大学+・東京外国語大学++

Kanazawa University+・Tokyo University of Foreign Studies++

〒920-1192 金沢市角間町

E-mail: yusyasato@yahoo.co.jp

Abstract : Advanced learners are required to systematically summarize Kanji and vocabulary which have already been learned, and to acquire new ones and to use them correctly. But the descriptions in existing dictionaries are unhelpful in many cases for understanding correct meanings and appropriate use. The new Kanji and vocabulary textbook for advanced learners proposes: ①to organize Kanji and vocabulary by building up networks between related meanings, shapes and sounds, ②to focus on the collocation with other words in sentences. Some questions are designed to encourage learners to think by themselves and find rules from given collocations.

キーワード：上級、漢字・語彙、ネットワーク、学習指標値、コロケーション

## 1. はじめに

金沢大学の上級レベル、最上級レベルの2クラスのために2冊の漢字語彙教材『上級・超級学習者のための考える漢字・語彙 上級編』『同超級編』(仮)を開発し、それぞれの解説書『知恵袋』を作成した(ココ出版から出版予定)。学習者はN1を目指す者からN1を越える超級レベルの学習者を想定している。学習漢字は旧日本語能力試験の1級、2級漢字である。

テキストは前半の導入ページと後半の問題ページからなる。導入ページは漢字の読み、意味、語彙などを提示したページである。

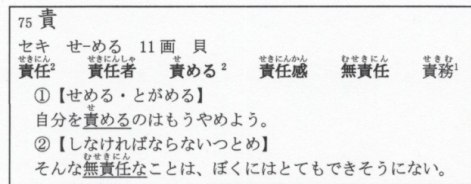
後半の問題ページは、既習漢字を体系的に整理しながら、新たな漢字・語彙を学習するとともに、それを使いこなす能力を伸ばす問題からなる。

## 2. 導入ページの特徴

漢字の意味は小学生向け辞書3冊を選定し、「基本的な意味」を確定した。

また、語彙は徳弘(2006)の漢字語彙一覧表に基づいて選定した。徳弘(2006)では新聞でどれだけ使われるか(頻度値)、日本人にどれだけなじみが深いか(親密度値)のデータに基づいて、単語に10段階の学習指標値をつけているが、本テキストでは、学習指標値が5以上とされた単語をもとに重要語彙を選定し、太字で表記している。また、旧日本語能力試験1~4級語彙(語の右肩に数字の付されているもの)も網羅している。

## 資料1 導入ページ



## 3. 問題ページの特徴

上級漢字・語彙の学習にはいくつかの問題点がある。本教材では、それらの問題点を踏まえて問題を作成した。

まず、第一に上級漢字・語彙の学習では漢字数・語彙数を大幅に増やすことが要求されるが、漢字も語彙も、何の脈絡もなく学習するのは難しいという問題がある。漢字を体系的に学習させるため、同部首同音の漢字のネットワークに注目し、問題を作成した。語彙のネットワークとしては、類義語・同漢字熟語・対義語の問題を作成した。音のネットワークとしては、同音漢字・同音異義語の問題も入れ込んだ。

第二の問題点として、現存の辞書の記述では、正確な語意の理解や使い分けが難しいということが挙げられる。そのため、それぞれの語彙がどのような語彙と共起しやすいかというコロケーション情報を示して正確な意味理解を図り、さらに運用練習として選択問題を与えた(問題例については4で詳述)。

第三に、漢字・語彙の学習には受動的に暗記するのではなく、能動的学習態度が必要と考えられる。本教材では用例から漢字または語彙の意味を推測し、自らルールを見いだし、それをもとに解かせるような問題も工夫した。

なお、本教材では旧日本語能力試験 1〜4 級語彙のすべてを入れ込む形で問題を作成している。

#### 4. コロケーション

本稿では、「コロケーション」を「慣習的に共起する語と語の結びつき」と定義する。本教材では、コロケーションを使いこなせるか否かが言語の自然さに関わるという立場から、コロケーション情報を提示した。語彙のコロケーションは日本語用例・コロケーション抽出システム『茶漉』を使用して調べた。

#### コロケーションの問題例 その1 (資料2)

「腹が減る」とは言うが「腹が減少する」とは言えない。語を単独で覚えても正確に使うことはできない。

また、「空腹を感じる」「腹が減る」などは似た意味を表すが、全く同じというわけではない。語は共起語とペアになって初めて意味・用法が確定するが、辞書にはこれらについての記述は極めて少ない。本教材では、語と共起語と一緒に学ぶ類義表現の問題を多く作成した。

上級になると、共に使われることによって別の意味が生じる表現（「腹を立てる」など）も増えてくる。本教材ではこれらの表現も積極的に取り上げている。

#### 資料2 基本義・派生義、コロケーションの問題例

IV 「腹」の基本義と派生義 「腹」のコロケーション

1 漢字の意味を考えましょう。

腹

A はら おなか

B ももの中ほど 山腹 中腹 (=山腹)

C 心 心の中

「腹」の基本義は A はら・おなか です。

2 次の表現を読みましょう。

a 泣いたら腹が減ってきた。／泣いたらおなかが減ってきた。

b こんな夜遅くまで練習では、選手はさぞかし腹がすくだろう。


c 空腹を感じる。空腹だ。

d 腹ペコで死にそうだ。

3 a～dに共通の意味は何ですか。また、何か違いはありますか。

4 a～dと反対の体の状態はどう表現したらいいですか。

5 「腹を抱えて笑う」の意味を漫画から考えましょう。



A はら・おなか の意味から C 心・心の中 の意味が派生しました。

腹を決める 腹を探る 腹を割る

腹を立てる 腹がすわる 腹が黒い

6 適当なものを選んで、( ) に入れましょう。

1 部長が何を考えているのか、君ちょっと腹を( )て来い。

2 ひどいことを言われて腹を( )。

3 初めて腹を( )て話せる仲間が持てた。

#### その2 (資料3)

類義語の選択問題の中で、コロケーションを用いた問題を作成した。

この問題形式の第一段階の「意味・共起語」では、対象とした語の意味・用法を特徴づけるようなコロケーションの語例を複数提示した。また必要に応じ、語の意味記述も付記した。この段階で、学習者は複数の語例から、共通する規則性を推測、あるいは確認することになる。

そして第二段階の「問題」では、意味・用法の理解の確認・練習のために選択問題を設けた。

#### 資料3 コロケーションの問題例

問題に一部省略あり

< コロケーション >

「計画する」「企画する」「企てる」:  
辞書で調べると、「企画する」も「企てる」も「計画すること」と書いてあり、意味の違いがわかりません。そこで、共起語の違いに注目してみましょう。

**意味・共起語**

**計画する**：物事を行うにあたって、必要な方法・手順などを考えていくこと。  
・(建設・海外進出・調査・旅行・ツアー・イベント・テロ)を計画する

**企画する**：商品・行事など新たな取り組みの具体的な内容を考え、実施にあたって必要な方法・手順を考えていくこと。  
・(ツアー・イベント・展覧会・講座・商品)を企画する

**企てる**：物事を実行しようとして計画すること。  
・(暗殺・テロ・犯行・逃亡)を企てる  
※目的語には、混乱を起こすようなことを表す名詞が来ることが圧倒的に多い。

**問題** { }の中から適当なものを選んでください。1つ以上当てはまる場合があります。

(1) 私は来週から夏休みだ。夏休みの(計画・企画)をそろそろ決めよう。  
(2) 留学生のための遠足を(計画しました・企画しました・企てました)。  
(3) 大統領の殺害を(計画した・企画した・企てた)として、25歳の男が逮捕された。

#### 5. 学習者の反応・課題

インタビュー、アンケート調査では、教材全体及び問題について、役立つという意見が多数あった。コロケーションを提示した問題に関しても、役立つと評価する声が多く聞かれた。一方で、少数ではあるが、比較的日本語能力の低い学習者からは「細かい部分は理解できないところもある」という声も聞かれた。今後は、共起語の選択を見直して、重要なポイントを明確にするなどの改善を施していきたい。

#### 参考文献

徳弘康代(2006)「日本語教育における中上級漢字語彙教育の研究」(早稲田大学博士論文)

三好裕子(2011)「共起表現による日本語中級同士の指導方法の検討―動詞と共起する語のカテゴリー化を促す指導の有効性とその検証―」『日本語教育』150号, pp. 101-115

『茶漉』日本語用例・コロケーション抽出システム  
<http://tell.fll.purdue.edu/chakoshi-wiki/>